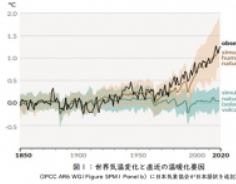


① 地球温暖化の防止について

地球温暖化の要因

人間活動の影響が大気・海洋及び陸域を温暖化させてきたことに疑う余地がない

IPCC AR6 2021年8月



温暖化の進行を抑えるためには、人間活動による影響を減らしていく必要がある。



チャレンジ「ゼロカーボン」

温室効果ガス排出量削減目標

船橋市では温室効果ガス排出量の削減目標を掲げています。

中期目標: 2030年度までに2013年度比26%削減

長期目標: 2050年ゼロ・カーボンに挑戦

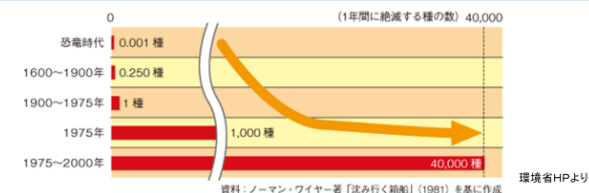


2050年に「ゼロ・カーボン」に挑戦！
ゼロ・カーボンとは、二酸化炭素の排出が削減ゼロになること。
どうしてやってみようか？
温暖化対策は新しい技術で実現しにくいところが多い。

私たちはゼロカーボンに向けて、どのようなことができるでしょうか？

② 生物多様性について

種の絶滅速度



現在、地球上ではかつてないスピードで生き物が絶滅して行っています。

その原因は何でしょうか？

生物多様性のもたらす自然の恵み



私たちは普段の生活で生物多様性からどのような自然のめぐみを受けているでしょうか？

吹き出しの中に入る「自然のめぐみ」を考えてみましょう。



③ 海洋プラスチックごみ問題について

海洋プラスチックごみの発生起源

世界で年間800万トンのプラスチックごみが海へ

日本人全員の合計体重(約700万t)より重い



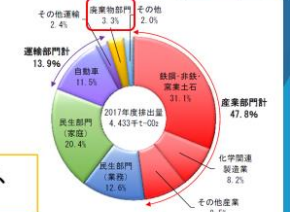
海洋プラスチックのうち約8割が陸上で発生し、海に流れ込んだもの

プラスチック削減と地球温暖化対策

プラスチックは主に石油から作られているため、焼却することで温暖化の原因となるCO₂が発生

一方で、植物由来の材料は、元々大気中にあるCO₂が大気に戻るだけなので、焼却によるCO₂排出はカウントしない【カーボンニュートラル】

ゼロ・カーボンの達成に向け、プラスチック削減は重要



船橋市の部門別温室効果ガス排出量

④ ごみの減量について

焼却した灰の行方②

清掃工場でごみを焼却した後に出る灰は、どこに行くのでしょうか？
→市内に埋立地が無いので、市外の自治体に受入れていただき埋立処分しています。

- 秋田県小坂町や山形県米沢市のほか、県内の君津市にも埋立処分をお願いします。
- 令和元年度は、約7,590トン(25mプール約17杯分)を埋立処分しています。



最終処分場① 秋田県小坂町
約4,320トン (R1実績)
残容量 約124万㎡(R3.3期)



最終処分場② 山形県米沢市
約3,000トン (R1実績)
残容量 約206万㎡(R3.3期)



最終処分場③ 君津市
約2,700トン (R1実績)
残容量 約2,1万㎡(R2.12期)

ごみの処理にはどのくらい経費がかかるの？

ごみの処理には年間約74億円(令和元年度実績)と多額の経費がかかっています。そのうち、家庭から出る可燃ごみの処理にかかった経費は約44億円です。ごみを減らすことでごみ処理経費を削減でき、また、排出されるCO₂を減らすことにもつながります。

可燃ごみ1袋(45L)の処理に約220円かかっています。



1世帯が週2回の可燃ごみの日に毎日1袋可燃ごみを出すと、年間約100袋。100袋×220円=22,000円が1世帯あたり1年間ごみの処理にかかっています。

可燃ごみ1袋(45L)を焼却することにCO₂が2.61kg排出されています。



※約70本の杉の木が1日で吸収する二酸化炭素と同じくらい